

Neues in Nara

Nr. 29.

2010年2月22日



Japanisch-Deutsche Gesellschaft Nara

奈良日独協会（会長 河野良文）

奈良市大安寺 2-18-1 大安寺内

Tel/0742-61-6312, Fax/0742-61-0473

事務局：加納雅之（Tel/Fax 0742-22-3636）

“これは会員相互のコミュニケーションツールです。皆様からの情報は事務局へ”

2 - 4月行事予定

1. ベルリンの壁崩壊及びドイツ再統一

20周年記念写真展

（大阪・神戸ドイツ連邦共和国総領事館製作）

期日：2月16日（火）～28日（日）

場所：奈良県立図書情報館（当協会協賛行事）

「9枚の情報パネルと当時を写した41枚の貴重な写真で回顧。又現在のベルリンの街を写した3Dの巨大な航空写真も展示。」

2. 全国日独協会連合会年次総会

期日：4月12日（月）10：00～

場所：東京・ドイツ文化会館

会員だより

1. 峯本晴輝さんよりの投稿記事

「ドイツ生まれのVogel君」

“海外暮らしの長かった私たちにとって、ハンブルクの5年間はまた格別のものでした。といいますが、私自身はハンブルクを拠点にしてヨーロッパ各地を飛び回る多忙な毎日でしたが、留守番役の妻に強力な助っ人（犬）がいてくれたからです。



ハンブルク郊外のブリーダー “Vogel” 氏宅で生まれた雄犬ですが、名前を売主にあやかって、“VOGEL”（鳥）と名づけ散歩のたびに “VOGEL! VOGEL!” と呼ぶものですから、近所のドイツ人が不思議がり、これがもとで一層親しまれることになりました。おっちょこちょいのVOGELは時々自由を求めて奔走するものですから、妻も手を焼いてお隣さんに相談したところ、早速地元の広報誌に写真入りで掲載され、親切なドイツ人が近くの駐在所に届けてくれるなどで飼い主とも一躍有名になりました。

1997年私たちとともに、日本に移住したVOGELは日本語と暑い夏に馴染めず、半年ぐらいは相当苦労したようですが、その親しみやすい性格が功を奏して、徐々に近所に友達が出来、私たち一家にとっても楽しい散歩の一員となりました。

多くの友達を作ってくれたVOGELも3年前に天寿を全うし、私たちにドイツと日本の架け橋という役割を残してくれました。

たまたま昨年暮れに、神戸の大学で勉強する二人のドイツ人留学生を奈良に案内する機会があり、東大寺から猿沢の池、奈良町と散策しながらVOGELとハンブルクでの日々を思い出しておりました。“

2. 大安寺「天平交流会」の案内

大安寺は、平城遷都1300年にあたる今年を「遷寺1300年」と位置づけ、大安寺に住み東大寺大仏の開眼師を務めたインド僧、菩提遷那の遺徳を称え、大安寺を中心に様々な行事が開催されます。

（詳細は奈良市観光案内等を参照下さい。）

4月3日（土）

・菩提遷那1250年御遠忌法要・ウオークラリー・狂言・ツアー
更に、天平衣装に身をつつんだ人々の行列など

4月10日（土）

・講演会：奈良県図書情報館にて、菩提遷那が日本にもたらした文化、帰化僧から見た平城京などをテーマにした講演会
・天平交流市：境内にて、インド、中国、ヴェトナム日本など東アジアの食べ物、物産、音楽、大道芸などの国際バザール

河野良文貫主は「奈良時代には多くの僧侶が学び、渡来僧も住んだ寺。当時の精神的なリーダーが集まる拠点で、国造りにも貢献した歴史を発信したい」と話されています。

12 - 1月行事報告

1. 2009クリスマス会

（12月12日（土）和ダイニング花小路、39名参加）

会長挨拶、「2009年の行事振り返り」の映像紹介、新入会員の紹介、さらにバイエルンへの青少年研修旅行（2009年8月）に参加した学生会員（＝写真左上）より映像報告があった。例年以上に多くの参加者で賑やかな会となった。



2. 京阪神地区日独協会合同新年会

（1月8日、アサヒスーパードライ大阪、約50名参加）

大阪日独協会の企画で開催された。新春の恒例行事となり、奈良からは7名参加し、近隣日独協会会員と親睦を深めることが出来た。

